

授 業 概 要

分 野	専門基礎分野	科目名	公衆衛生学	担当講師	朝来市健康福祉事務所 (須藤 章、渡部雅博、 二位ゆかり、吉岡芳枝) 養父市保健師 (吉田由佳、小谷純子)
実施年次	2年次	単位数	1単位	時間数	15時間
科目設定のねらい 公衆衛生は社会福祉、社会保障と共に社会として生存権を確保する体系的なしくみであり、すべての人々を対象に、地域社会の組織的な努力を通じて、疾病を予防し、寿命を延ばし、健康と活力を増進するための科学と技術である。健康や生活の質を広く人々や人々が生活する地域、職域、学校、さらには社会全体の枠組みの中で考えることは、より根本的でより多くの人に影響を及ぼすことのできる働きかけを可能にし、個々の健康上のリスクの軽減、つまり予防活動の実践へとつながる。 このような考え方を基に、本科目では環境・社会と人間の健康との相互関係、及び社会全体の健康問題について学ぶことをねらいとする。					
時間	単元目標	主 題	内 容	指 導 方 法	
2	1. 公衆衛生の概念を理解する	1) 公衆衛生の概念 2) 日本における公衆衛生	(1) 公衆衛生とは何か (2) 世界の公衆衛生の歴史 (1) 公衆衛生の発展 プライマリヘルスケア、ヘルスプロモーション	講義	
2	2. 公衆衛生のしくみを理解する	1) 公衆衛生の場での疫学	(1) 疾患の発生状況 ・有病率 ・罹患率 (2) 健康状態や医療水準 ・平均寿命、平均余命、健康寿命 ・死亡率、死因 (3) 人口問題と人口動態統計 (4) 原因と疫学的因果関係と対策	講義	
2	3. 公衆衛生における生活環境と問題への対策を理解する	1) 地球規模の環境と健康 2) 身の回りの環境と健康	(1) 地球温暖化、オゾン層の破壊 (2) 水質汚濁 (3) 大気汚染 (4) 土壌汚染、放射性物質 (1) 室内環境 (2) 食品管理、家庭用品の安全対策 (3) ごみ・廃棄物問題	講義	
2	4. 集団の健康を捉えるための手法を理解する	1) 国、都道府県、市町村の役割	(1) 法律と政策・施策・事業 (2) 国と地方自治体の役割 ・保健所 ・市町村保健センター (3) 専門職の働き (4) 学校保健法に基づく役割 (5) 難病対策	講義	

2	5. 公衆衛生における感染症と対策を理解する	2) 精神保健	(1) 精神保健活動の理念 (2) 精神障害者の医療 (3) 自殺と自殺予防対策	講義
4		1) 感染症対策	(1) 感染症法とその予防対策 (2) 院内感染とその予防対策 (3) 公衆衛生上の重要な感染症とその対策	
1	6. 地域保健活動の実際について理解する	2) (但馬：養父市) 地域における保健活動	(1) 養父市における ①母子保健活動 ②成人保健、生活習慣病予防 ③高齢者保健 ④歯科保健	講義
1	試験			
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度② 公衆衛生 医学書院 厚生の指標 増刊 国民衛生の動向 厚生労働統計協会 看護六法 新日本法規			
参考文献	系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度④ 看護関係法令 医学書院 川野雅資監修 看護学実践 science of nursing			
評価方法	筆記試験			

授 業 概 要

分 野	専門基礎分野	科目名	健康支援と保健活動	担当講師	井上 清美
実施年次	2年次	単位数	1単位	時間数	15時間
<p>科目設定のねらい</p> <p>社会の変化とともに、地域包括ケアが重視されるようになり、看護の場も地域へと広がっている。実践領域である行政看護、産業看護、学校看護、在宅看護の各専門領域と、その基盤となる看護が提供される場としての「地域」を基軸に、保健師助産師看護師に共通する学問として位置づけられている。今後ますます、看護師の活躍の場は、地域に拡大・シフトしていくことが予測され、訪問看護のみならず、地域に看護の拠点をつくること、予防的に居宅日本問することを含めて、地域における看護師の活躍への期待は大きい。この科目は、国民の QOL の高い生活を支え、安心して安全な地域社会の構築に寄与することを明確にした。これは、日本社会における保健医療福祉の動向に対応したものである。日本は超高齢社会に突入し、増大する高齢者のケアの体制整備と質の確保は大きな社会問題であり、ケア職である看護への役割期待はますます大きくなっている。さらに医療制度改革により地域医療・在宅医療の推進および地域包括ケアシステムの構築が求められるようになり、地域看護の果たす機能の重要性が増している。これらの社会的要請にこたえる実践活動を支え、発展させ、地域看護の素養を持つ人材を養成する事に寄与していく。</p>					
時間	単元目標	主 題	内 容	指 導 方 法	
2	1. 地域保健活動の理念と仕組みを理解する。	1) 地域保健活動「地域看護」の目指すもの	(1) 保健活動/公衆衛生の原点 ①「地域看護」の構成 ②地域看護の場「地域」 ③地域看護の専門職能 保健師 ④保健師の技術「保健指導」	講義	
2		2) WHO・プライマリヘルスケア・ヘルスプロモーション	(1) WHO 憲章 (2) ヘルスプロモーションの定義 (3) 日本国憲法、健康日本 21 (4) 健康増進法		
2	2. 地域を対象とする公衆衛生看護活動(保健活動)の主要な概念について、地域の看護職である保健師の活動から理解する。	1) 地域保健活動の構造と展開	(1) 地域看護と保健師 ①地域看護と地域の関係 (2) 地域看護の目指すもの (3) 地域看護の場「地域」とは (4) 地域看護の専門職「保健師」	講義	
		2) 健康危機管理	(1) 国レベル、地域における健康危機管理体制 (2) 国際保健規則 (3) 東日本大震災等の災害対策		
2	3. 現代の社会環境の特徴、人々の健康のとらえ方、直面する健康課題について検討し、今後の地域保健活動の方向性を理解する。	1) 産業保健活動	(1) 産業保健とは －労働安全衛生法 (2) 労働者の健康問題 (3) 労働衛生管理体制 ①安全衛生管理の組織 ②作業環境管理 ③職場における健康管理・職業病の予防	講義	

2 2 1	4. 看護職が住民や関係者・関係機関とともに協働し、健康づくり、地域づくりに参加することの重要性を理解する。	1) ソーシャルキャピタル 2) 目指す地域包括ケアと保健活動	(1) ソーシャルキャピタルとは ①ソーシャルキャピタルの三要素 ②ソーシャルキャピタルの種類、形態 ③社会的交流 (1) 兵庫県地域医療構想	講義
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度(2) 公衆衛生 医学書院 厚生の指標 増刊 国民衛生の動向 厚生労働統計協会			
参考文献	系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度(3) 社会福祉 医学書院 系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度(4) 看護関係法令 医学書院 看護六法 新日本法規 新体系 看護学全書 健康支援と社会保障制度① 現代医療論 メヂカルフレンド社			
評価方法	筆記試験			

授 業 概 要

分 野	専門基礎分野	科目名	社会福祉	担当講師	井土睦雄
実施年次	2年次	単位数	1単位	時間数	15時間
科目設定のねらい 社会保障・社会福祉制度や政策について学び、医療と福祉の連携について理解する。そして、看護専門職として、医療サービス利用者への看護を通じて、社会福祉関係支援者と共に、チームアプローチができる人材を育成する。					
時間	単元目標	主 題	内 容	指導方法	
2	1. 現代社会における社会福祉・社会保障の意義を理解する。	1) 現代社会と社会福祉の理念 2) 社会福祉の法律と行政	(1) 社会保障・社会福祉とは何か (2) 社会保障・社会福祉の動向 (1)社会福祉の法律に基づく行政の役割	講義	
2	2. 現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向が理解できる	1) 現代社会の変化 2) 社会保障・社会福祉の動向	(1) 個人、家族、地域社会と人口、経済、雇用等の変化の連動性 (1) 社会保障制度、保健医療、社会福祉の動向	講義	
2	3. 医療保障制度について理解できる	1) 医療保障制度の構造と体系	(1) 医療保険の目的と内容、役割	講義	
2	4. 介護保障制度について理解できる	2) 介護保障制度の構造と体系	(1) 介護保険の目的と内容、役割	講義	
2	5. 所得保障と公的扶助について理解できる	1) 所得保障、公的扶助制度の構造と体系 2) 生活保護、低所得対策	(1) 所得保障（年金、雇用、労災、社会手当）制度の目的と内容、役割 (1) 生活保護制度の目的、内容、役割 (2) 低所得者対策の意義と内容、役割	講義	
2	6. 社会福祉分野とサービスが理解できる	1) 高齢者、障害者、児童福祉制度と支援	(1) 高齢者、障害者、児童の福祉制度内容と役割	講義	
2	7. 社会福祉実践と医療・看護の連携について理解できる	1) 社会福祉援助 2) 医療・看護の連携	(1) 社会福祉援助と医療の関係性 (1) 社会福祉実践と医療・看護が地域で連携し、果たす役割 (2)看護職の社会的役割と責任	講義	
1	試験				
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度(3) 社会福祉 医学書院				
参考文献	井村圭壮他 社会福祉の制度と課題 学文社				
評価方法	筆記試験				

授 業 概 要

分 野	専門基礎分野	科目名	関係法規	担当講師	星 雅丈
実施年次	2年次	単位数	1単位	時間数	15時間
科目設定のねらい 法律は私たちの日常生活そのものであり、法から守られ、法を守っている。看護としての任務を果たすためにはわが国の保健医療福祉に関する諸制度の概要とそれを規定する諸法令を理解し、社会において看護職がどのような役割を受け持っているかを正しく認識する必要がある。看護をはじめ医療は人間の生命に直接関係するだけに、そこに携わる人々の資格や業務内容が法律で厳格に規定されている。看護に携わる者が国民の健康を守り与えられた職責を正しく遂行するためには看護関係法令の理解が必要である。本科目では、社会における法、人権について、及び医療・福祉分野に関連する法について理解することをねらう。					
時間	単元目標	主 題	内 容	指導方法	
2	1. 社会における法の概念を理解する	1) 法の概念	(1) 法とは (2) 法の種類 (3) 衛生法の分類と主な法律 (4) 厚生行政のしくみ	講義	
6	2. 医療機関と関係法令、および医療従事者の職務の機能と役割を理解する	2) 医事法	(1) 医師法 (2) 医療法 (3) 健康保険法、介護保険法 (4) 診療放射線技師法 (5) 臨床検査技師等に関する法律 (6) 理学療法士および作業療法士法 (7) 言語聴覚士法 (8) 救命救急士法 (9) 歯科医士法、歯科衛生士法 (10)医療を支える法	講義	
2	3. 福祉分野に従事する職務の機能と役割を理解する	3) 福祉法	(1) 社会福祉法 (2) 生活保護法 (3) 社会福祉士および介護福祉士法	講義	
2	4. 薬務法の概要と法令の目的・定義を理解する	4) 薬務法	(1) 薬剤師法 (2) 薬機法 ① 薬局の種類と機能 ② 医薬品等の取り扱い	講義	
2	5. 環境保全の必要性と基本理念が理解でき看護との関連を考える	5) 環境法	(1) 環境基本法 (2) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律	講義	
1	試験				
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度(4) 看護関係法令 医学書院				
参考文献	川野雅資監修 看護学実践 science of nursing 地域看護学 ピラールプレス 系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度(3) 社会福祉 医学書院 系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 医学書院 看護六法 新日本法規				
評価方法	筆記試験				